

4月臨時会の報告

4月27日、平成30年第2回下呂市議会臨時会を開催しました。下呂市税条例の一部改正など、専決処分の4件を承認、固定資産評価員の選任に同意しました。また、議長・副議長選挙を行い、議長に今井政嘉議員、副議長に一本良一議員が就任しました。このほか常任委員会、特別委員会の選任を行い閉会しました。

上程議案と審議結果

◎全会一致で可決した議案 【市長提出議案】

議 案 名	審 議 結 果
専決処分の承認について（平成29年度下呂市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）） 後期高齢者医療広域連合納付金の歳出予算残高が不足し、支払いが困難となったため補正するもの。	可 決 (全会一致)
専決処分の承認について（下呂市税条例の一部を改正する条例） 地方税法等の一部改正に伴い、下呂市税条例の一部を改正するもの。	
専決処分の承認について（下呂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 地方税法施行令の一部改正に伴い、下呂市国民健康保険税条例の一部を改正するもの。	
専決処分の承認について（損害賠償額の決定） 公用車の物損事故による損害賠償の額を決定するもの。	
固定資産評価員の選任について 市の人事異動に伴い、固定資産評価員に税務課長を選任するもの。	



用語解説

Q 専決処分とは。

A 地方公共団体の議会が議決または決定すべき事項（下枠参照）を特定の場合に限り、地方公共団体の長が議会に代わって処理すること。特定の場合に限りとは、議会を招集する時間的余裕がないと認めるときなど。

Q 固定資産評価員とは。

A 市町村長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、且つ、市町村長が行う価格の決定を補助するため、市町村に固定資産評価員を設置することになっている。この固定資産評価員は、固定資産の状況を毎年少なくとも1回実地調査を行い、実地調査の結果に基づいて、毎年1月1日現在における時価によって、固定資産の評価を行うことになっている。

【地方公共団体の議会が議決または決定すべき事項】

- 条例の制定・改廃
- 予算の議決
- 決算の認定
- 地方税の賦課徴収・分担金、使用料、加入金または手数料の徴収
- 工事・製造の請負契約のうち、政令で定める基準額以上で条例で定める額以上の契約の締結
- 財産の交換・出資・支払手段としての使用・適正な対価なくしての譲渡または貸し付け
- 不動産の信託
- 政令で定める面積以上の不動産・動産、不動産信託の受益権の買入れ・売り払い契約のうち、政令で定める基準額以上で条例で定める額以上の契約
- 負担付きの寄付・贈与
- 権利の放棄
- 条例で定める公の施設の長期かつ独占的な利用
- 地方公共団体が当事者である不服申立て・訴えの提起・和解・あっせん・調停・仲裁
- 損害賠償額の決定
- 公共的団体等の活動の総合調整
- 法律または、これに基づく法令により議会の権限に属する事項（例／指定管理者の指定、外部監査契約の締結など）

※このほか条例で地方公共団体に関する事件について議会の議決事項を定めることができる。

新体制でスタート



議長 今井 政嘉

4月の改選で議長に就任し、その責任の重さを十分に感じており、下呂市発展のために努力を惜しまない覚悟でございます。

昨今の人口減少は、下呂市だけでなく全国的な問題ですが、人口減少を生産性の低下など多くの問題の根源と捉え、下呂市が魅力的で楽しいまちとなることを市民の皆さまと一緒に考え、皆さま方のご意見を政策提言できるように議会運営に努めてまいります。新卒の市内企業への就職者、新規就農者や家業を事業継承するためにUターンして来た若者などが、この下呂市を愛し下呂市に誇りをもっていただけのような産業振興を国や県と連携し進めていきます。市内唯一の高校である県立益田清風高校の生徒のみなさんはスポーツをはじめ、観光分野においても積極的に取り組むなど、さまざまな方面で活躍しています。未来ある子ども達のためにも、今、ここですっかりと子育て政策を執行部と一丸となって進めてまいります。



副議長 一木 良一

4月の臨時議会において、副議長に選出され、早くも3カ月が経過しました。

合併以降、市の人口が七千三百人ほど減少しています。それに伴い、市民の経済生産力も年々低下しています。この状態を少しでも改善するためには、1次、2次産業の発展をさらに進めることも必要ですが、市内各地の観光資源を生かし、交流人口の増加による消費の拡大にも力を注ぐべきと考えます。景観整備を進め、地域の伝統文化が息づく魅力ある町づくりを行うことで、市民をはじめ観光客にも満足していただける下呂市となることを願っております。他方、教育と福祉においては、子育てしやすい環境づくり、また、増加する1人暮らしのお年寄りの生活に対するサービスの向上と充実に取り組むことも重要です。市執行部と議会とは、車に例えると両輪であります。大切な乗客である市民のために、それぞれの与えられた責務を果たさねばなりません。常に謙虚であり、信頼評価される議会を目指し努力してまいります。